



▲本協定を基に、両者で協議して市民のサービスの向上を図ります

安全・安心をみなさんの身近へ

日本郵便株式会社と包括連携協定を締結

3月17日、日本郵便株式会社と包括連携協定を締結しました。これは、郵便局ネットワークの活用を通じた地域の活性化や市民サービスの向上を目的として結ばれたものです。

市民の身近な企業である同社との協定に二場公人市長は「非常に心強く感じています。この協定が市民の利便性の向上や地方創生、移住定住の促進に繋がっていくことを期待しています」と思いを込めました。市内郵便局を代表して調印を行った伊田郵便局の大西重裕局長（写真左）は「市民のみなさんの、安全安心で快適な生活の実現をサポートするトータル生活サポート企業として、暮らしの満足度の向上に向けて取り組みます」と話しました。

新たな門出。それぞれの思いを胸に

福岡県立大学卒業証書・学位記授与式

3月17日、福岡県立大学講堂で「卒業証書・学位記授与式」が行われ、人間社会学部と看護学部の学生260人と大学院生17人の計277人が晴れやかに旅立ちました。本年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会場を複数に分散。講堂での式典には、各学科などから代表者10人のみが出席し、その他の学生は各学科で式典のライブ中継を見ながら参加しました。式では、同大学の柴田洋三郎学長が「本校で過ごした日々を胸に、新たな活躍の舞台で羽ばたくことを願っています」と激励。人間社会学部を卒業した浅井尚紀さんは「大学で学んだことを忘れず、社会との繋がりを大切に今後も頑張りたい」と抱負を語りました。



▲柴田学長(写真左)から卒業証書を受け取る卒業生代表

ICTを活用して市民サービスを向上

ソフトバンク株式会社と連携協定を締結

3月23日、ソフトバンク株式会社と「庁内外のデジタルトランスフォーメーションおよびICTの利活用に関する連携協定」を締結しました。これは、同社の持つ知識とデジタル技術を活用した市役所内外の業務改善や、5Gなどによるスマートシティの実現に向けた取り組みの推進、ICTを活用した市民サービスの向上などを目的として結ばれたものです。同社5G&IoTエンジニアリング本部部長の本郷公敏さん（写真右画面内）は「本社の先端技術の5GやAI、IoT技術だけでなく、ペーパーレス化や業務改善支援など、ソフトバンクが地域貢献に根差して得たノウハウで、田川市を全力で支援します」と力強く語りました。



▲田川・東京間で、初のリモートによる締結式が行われました